

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-177094 (P2005-177094A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2003-421659 (P2003-421659)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 B

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先端側に配置された線状の第 1 ワイヤと、前記第 1 ワイヤの基端に接合され、前記第 1 ワイヤの構成材料より弾性率が大きい材料で構成された線状の第 2 ワイヤとを備えるワイヤ本体を有し、前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接合境界部が、曲面状をなし、かつ、前記ワイヤ本体の中心軸に対しほぼ対称な形状であることを特徴とするガイドワイヤ。

【請求項 2】

前記接合境界部は、前記ワイヤ本体の基端方向に向かって凸となる湾曲凸面状をなしている請求項 1 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 3】

前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接合は、溶接によりなされている請求項 1 または 2 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 4】

前記接合境界部は、層状をなしている請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のガイドワイヤ。

【請求項 5】

前記層状をなす接合境界部の厚さは、 $0.001 \sim 100 \mu\text{m}$ である請求項 4 に記載のガイドワイヤ。